

(様式第4号)

B E M S 概 要 書

※補助対象BEMSとして、複数のBEMSの登録を希望する場合は、BEMSごとに作成すること。

1. システム概要

| | | | | |
|--------------|---|-------|------|--|
| BEMS提供事業者の名称 | パルコスモ株式会社 | | | |
| BEMSの名称 | PN-XERO | | | |
| 想定対象施設 | 業種 | 福祉施設 | 延床面積 | 4000~5000㎡ |
| | 契約電力 | 180kw | 計測点数 | パルス入力1点(MAX3点) 電力計測3点(MAX100点) 温度8点(MAX32点) 室外機稼働12点(MAX128点) |
| URL(※) | http://www.palcosmo.co.jp/ | | | |

※当該BEMSに関する情報をウェブサイトに掲載している場合に記入

2. システムの特徴 ※200字以内(厳守)でシステムの特徴を端的に説明すること。

デマンドピーク時だけでなく、それ以外の時の使用量もムダを削減していくBEMSである。基本料金だけでなく使用量料金もダブルで削減していく事となる。特徴は温度センサーで人の高さの温度を1分毎測る事。空調は通常天井の室内機吸込み口で感知されるが、人の高さでの温度状況を考慮して制御を行う為、人の快適性を維持しながら省エネを行っている。GHPも対応可能機種があり、ガス使用量の削減目的としても利用できる。

3. システムを構成する主要な機器・設備(標準構成)

| No. | 機能 | 名称 | メーカー | 型番 | 参考価格(円) |
|-----|---------------|-----------|---------------|-----------|-----------|
| 1 | 制御盤 | 主装置 | パルコスモ(株) | PN-XERO-8 | 2,300,000 |
| 2 | デマンド計測 | パルス検出ユニット | (株)エムシステム技研 | CLSP-5 | 28,000 |
| 3 | エリア温度計測 | 测温抵抗体 | (株)誠計器 | LMR-10C | 5,800 |
| 4 | 外部信号による空調制御 | 空調制御アダプタ | (例) ダイキン工業(株) | DTA104A3 | 31,000 |
| 5 | 電力負荷計測(オプション) | パワーメーター | パナソニック(株) | AKW7111 | 18,000 |
| 6 | 電力負荷計測(オプション) | 分割CT 250A | パナソニック(株) | AKW4803C | 10,000 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

4. システムの機能(実装機能について「該当」欄に○を記入)

| 区分 | 項番 | 項目 | 機能 | 該当 | 補足事項 | |
|---------------|------|---------------|--|--|---|--------------------------|
| エネルギーの計測と見える化 | ○ 1 | 電力 | 電力消費量 | 事業所全体の電力消費量を計測できること。 | ○ | |
| | ○ 2 | | | 主たる電力負荷設備の電力消費量を計測できること。 | ○ | |
| | 3 | | 発電量・売電量 | 太陽光発電、燃料電池等の発電設備を有する場合、機器ごとの発電量及び売電量を計測できること。(他社の発電設備である場合等、計測できない場合を除く) | ○ | 積算パルスにて出力してもらえれば可能 |
| | 4 | | 蓄電量・放電量 | 蓄電設備を有する場合、蓄電量及び放電量を計測できること。(非常用等、計測する必要性がない場合を除く) | ○ | |
| | ○ 5 | | 計測間隔 | 事業所全体の30分以内の積算電力消費量を計測できること。 | ○ | 1分間積算電力量を測定 保存期間1ヶ月 |
| | ○ 6 | | 見える化 | 事業所全体の30分以内の積算電力消費量を表示できること。 | ○ | ブラウザ経由での表示 1分単位、30分単位 |
| | 7 | 電力以外(ガス、重油等) | エネルギー消費量 | 事業所全体のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。 | ○ | 積算パルスにて出力してもらえれば可能 |
| | 8 | | | 主たるエネルギー(電力除く)負荷設備のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。 | ○ | 積算パルスにて出力してもらえれば可能 |
| | 9 | | 見える化 | 事業所全体の積算エネルギー(電力除く)消費量を表示できること。 | ○ | ブラウザ経由での表示 1分単位、30分単位 |
| | | 10 | 全体 | 見える化 | 事業所全体のエネルギー(電力含む)消費量を原油換算値(kl)で表示できること。 | ○ |
| 接続機器の制御 | 11 | ローカル制御(※) | 省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。 | ○ | | |
| | 12 | 遠隔制御(※) | 地域電力のひっ迫時等に、事業所から離れた場所から制御できること。(機器直接制御でもデマンド目標値変更による間接制御でも可) | ○ | | |
| | 13 | 発電、蓄電設備(※) | 発電、蓄電設備を有する場合、事業所及び事業所から離れた場所から稼働状態を変更できること。 | △ | 設備側に接点を受けてもらえる物があれば可能 | |
| デマンドの管理 | ○ 14 | デマンド警報 | 事業所全体の30分積算電力量の目標値の設定ができ、設定された目標値を超える蓋然性が高い場合には、メール等で警報を発することができること。 | ○ | | |
| | 15 | デマンドピークの制御(※) | 上記の場合に、電力消費量を自動制御できること。 | ○ | | |
| | 16 | デマンドレスポンス | 補助対象BEMS提供事業者が電力会社等から要請を受けた場合、補助対象BEMS提供事業者のセンターシステムと連携して事業所から離れた場所からも電力使用量を抑制できること。 | ○ | 東電BSPで既に稼働、運用済 | |

区分: ○は必須、その他は任意

※制御履歴を保存できるようにすること。